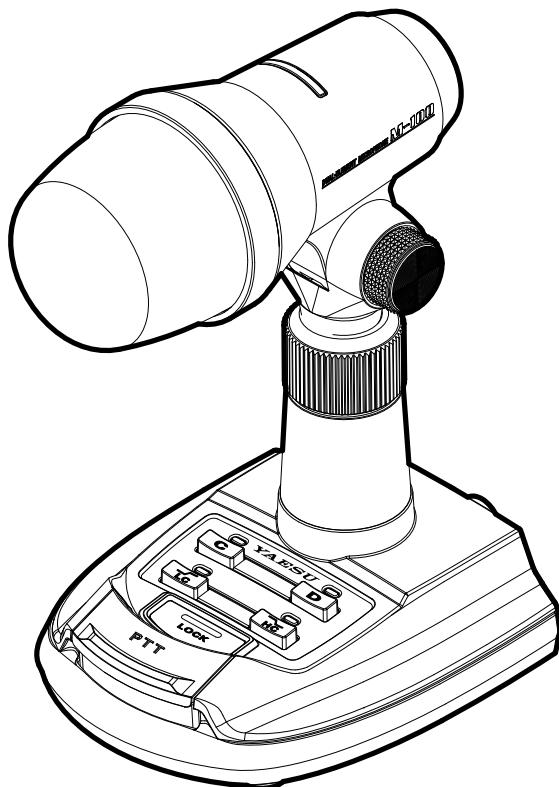


YAESU
The radio

DUAL-ELEMENT MICROPHONE **M-100**

取扱説明書



目次

はじめに	1	PTT キー	5
特徴	1	送信インジケーター	5
安全上のご注意	2	マイク	6
各部の名称と機能	4	角度調節ツマミ	6
C キー (コンデンサーマイクエレメントキー)	4	高さ調節リング	6
D キー (ダイナミックマイクエレメントキー)	4	マイク端子 (8 ピン端子)	7
LC キー (Low Cut キー)	5	マイク端子 (モジュラー端子)	7
HC キー (High Cut キー)	5	マイクの周波数特性	8
LOCK キー	5	定格	8

付属品

トレブルブーストカウリング	1
マイクロフォンケーブル	1
取扱説明書 (本書)	1

本書の記号について

本書は、下記の記号を使って重要な情報が記載されていることを表しています。

記号	説明
!	このアイコンは、お客様に理解していただきたい注意と警告を表しています。
i	このアイコンは、役に立つ情報やヒントを示しています。

使用できる無線機について

M-100 は、下記の無線機で使用することができます。

FT-817/ND	FT-818ND	FT-857/D	FT-891	FT-897/D
FT-450/D	FT-900	FT-991/A	FT-847	FT-920
FT-950	FT-1000MP	FT-1000MP MARK-V		FT-2000/D
FT-710	FTDX10	FTX-1 シリーズ		
FTDX1200	FTDX3000D	FTDX5000	FTDX9000	
FTDX101D	FTDX101MP			
FT-747 *	FT-840 *	FT-850 *	FT-1000 *	FT-1011 *
FT-1021 *				

* 別売の“オプション電源キット”が必要です。

2025 年 11 月現在

特徴

デュアルエレメントデザイン

通信機用に開発されたダイナミックマイクとコンデンサーマイクを内蔵し、2つのマイクエレメントから出力された音声信号を合成することができます。コンデンサーマイクの歯切れが良く高域まで透き通るように伸びた周波数特性、そしてダイナミックマイクのラグチューに向く、厚み、重厚感のある暖かい音質。この方式の違う二つのマイクエレメントを使い、運用スタイルに合わせて好みの音質を選択することができます。

トレブルブーストカウリング（高域強調カウリング）で独特な音質を実現

付属のトレブルブーストカウリングをマイク先端部に取り付けることにより、マイク側面からの音を遮断し、1～1.5kHz付近にピークを持った音声が凝縮されたような独特な周波数特性を得ることができます。

エアシリンダーマグネット機構の無接点 PTT キー

PTT キーは、指先の感触を重視しスムーズでロングストロークが得られる無接点方式のトリプルエアシリンダーマグネット機構を採用することにより、適度な重みとストロークを持った心地よい操作フィーリングを実現しています。また、スイッチ部分は無接点構造になっているので機械的な劣化がなく、長期間の使用でも安定した動作を保証します。

その他、ワンタッチ操作の PTT LOCK キー、高域周波数をカットするハイカットフィルター、低域周波数をカットするローカットフィルターを採用したマイクロフォンです。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が障害を負う可能性が注意想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味

	本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。図の中や近くに具体的な禁止内容（①の場合は分解禁止）が描かれています。
	本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。図の中に具体的な指示内容（②の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

！ 危険

	自動車やバイクまたは自転車等を運転しながら使用しないでください。事故の原因になります。 運転者が使用するときは、必ず安全な場所に停車してから使用してください。
--	--

！ 警告

	マイクロフォンケーブルのピン、およびその周辺はいつもきれいにしておいてください。 火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。		本機を改造しないでください。 火災や感電・故障の原因になります。
	本機から煙が出ていたり、変な臭いがするときは、マイクロフォンケーブルを外し、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または当社カスタマーサポートにご連絡ください。		水などで濡れやすい場所（加湿器のそばなど）に設置しないでください。 火災・感電・故障の原因になります。
	濡れた手でマイクロフォンケーブルコネクターなどの取り扱いをしないでください。 ケガ・漏液・感電・火災・故障の原因になります。		マイクロフォンケーブルに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また加熱や加工をしたりしないでください。 ケーブルが傷ついたり破損して、火災・感電・故障の原因になります。
	マイクロフォンケーブルを抜き差しするときは、ケーブルを引っ張らないでください。 火災・感電・故障の原因になりますので、プラグまたはコネクターを持って抜いてください。		マイクロフォンケーブルが傷ついたり、マイクロフォンケーブルの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。 火災・感電・故障の原因になりますので、お買い上げの販売店または当社カスタマーサポートにご連絡ください。

⚠ 注意

 **本機を不安定な場所や振動の多い場所などに置かないでください。**

落ちたり倒れたりして、火災・ケガ・故障の原因になることがあります。

 **本機の上に重い物を置かないでください。**

落ちたり倒れたりして、ケガの原因になることがあります。

 **本機の上に花瓶・化粧品・コップなどの、水の入った容器を置かないでください。**

こぼれたり中に入った場合、火災や故障の原因になります。

 **本機を湿気やホコリの多い場所に置かないでください。**

火災や故障の原因になります。

 **シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください。**

ケースの汚れは、やわらかい乾いた布で拭き取ってください。

 **本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。**

ケガや故障の原因になります。

 **本機を移動させるときには、無線機と接続している全てのケーブルを外した上で行ってください。**

 **本機を直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。**

変形・変色などの原因になります。

 **小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。**

ケガなどの原因になります。

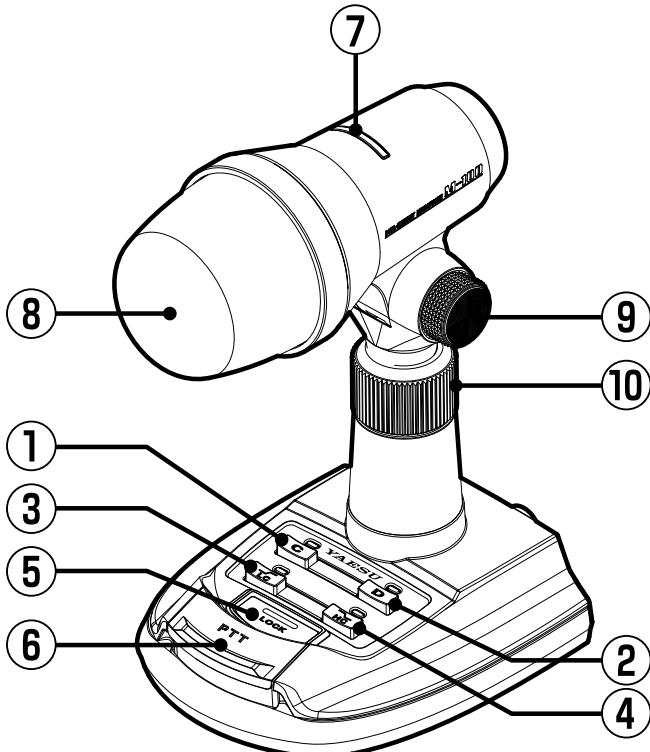
 **当社指定以外の製品は使用しないでください。**

故障の原因になることがあります

⚠ 使用上の注意

- ノイズを避けるため、電源装置や電源ケーブルなどからなるべく離して設置してください。
- 送信電波の回り込みを避けるため、アンテナやアンテナケーブルからなるべく離して設置してください。

各部の名称と機能



① C キー（コンデンサーマイクエレメントキー）

コンデンサーマイクに切り替わります ([C] の LED がオレンジ色に点灯)。併せて D キーを押すと、コンデンサーマイクとダイナミックマイクの 2 つのマイクエレメントから出力された音声信号が合成されます。再度 D キーを押すと、コンデンサーマイク単体の動作に戻ります。

② D キー（ダイナミックマイクエレメントキー）

ダイナミックマイクに切り替わります ([D] の LED がオレンジ色に点灯)。併せて C キーを押すと、ダイナミックマイクとコンデンサーマイクの 2 つのマイクエレメントから出力された音声信号が合成されます。再度 C キーを押すと、ダイナミックマイク単体の動作に戻ります。

! C キーおよび D キーのどちらのキーも押していない場合は、マイク出力がオフになります ([C] と [D] の LED が同時に点滅します)。

③ LC キー (Low Cut キー)

このキーを押すと低域周波数カット用のローカットフィルター（カットオフ周波数 340Hz、-6dB/oct）が動作します。

④ HC キー (High Cut キー)

このキーを押すと高域周波数カット用のハイカットフィルター（カットオフ周波数 2kHz、-6dB/oct）が動作します。

 LC キーと HC キーの両方を押すと、ローカットフィルターとハイカットフィルターが同時に動作します。

 無線機のモニター機能を使用して送信音をモニターするときは、無線機のマイクゲインおよびモニター機能の音量レベルを調節してください。

⑤ LOCK キー

ワンタッチ操作のロック機能付 PTT キーです。

押すと送信状態を維持し、もう一度押すと受信状態に戻ります。

 ・LOCK キーが動作中は、PTT キーの動作は無効になります。
 ・LOCK キーが動作中は、LOCK キーのインジケーターが赤く点灯します。

⑥ PTT キー

押している間だけ送信状態になります。

放すと受信状態に戻ります。

 PTT キーには磁気センサーを使用しています。誤動作の原因になりますので、スピーカーや磁石など、磁気の強いものを近づけないでください。

⑦ 送信インジケーター

送信時に赤色に点灯します。

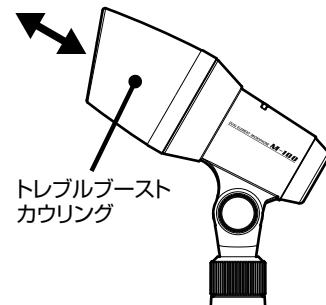
受信時は消灯します。

各部の名称と機能

⑧ マイク

通信機用に開発されたコンデンサーマイクとダイナミックマイクを内蔵しています。コンデンサーマイクの歯切れが良く高域まで透き通るように伸びた周波数特性。そしてダイナミックマイクのラグチューに向く、厚み、重厚感のある暖かい音質。この方式の違う2つのマイクエレメントから出力された音声信号を合成することもできます。

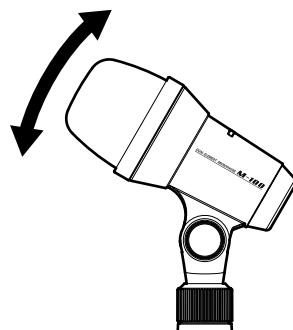
- i** 付属の“トレブルブーストカウリング”を取り付けると、マイク側面からの音を遮断し、1～1.5kHz付近にピークを持った音声が凝縮されたような独特な周波数特性を得ることができます。取り付けはマイク前面から被せるように真っ直ぐに押し込み、外す際は真っ直ぐ引き抜くようにして外します。



⑨ 角度調節ツマミ

左右にあるツマミを反時計（左）方向にまわして緩めると、マイクの角度をお好みの角度に調節することができます。

調節が終わりましたら、時計（右）方向にまわして固定してください。

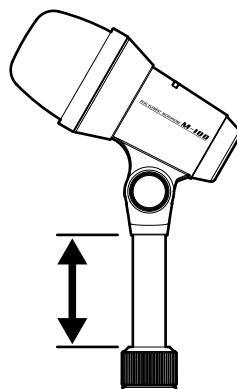


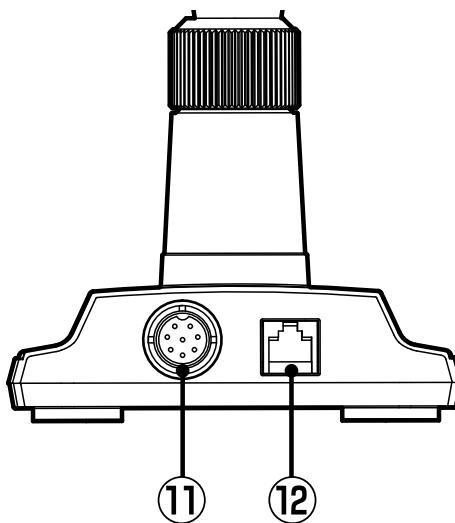
⑩ 高さ調節リング

反時計（左）方向にまわして緩めると、マイクの高さを連続的に調節することができます。

調節が終わりましたら、時計（右）方向にまわして固定してください。

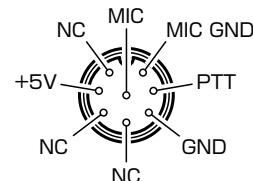
- i** 最大約6cm延ばすことができます。





⑪ マイク端子（8ピン端子）

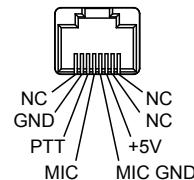
付属のマイクロフォンケーブルで、マイク端子が“モジュラーポート”の無線機と接続します。



※ M-100 の背面側から見たピン配置図

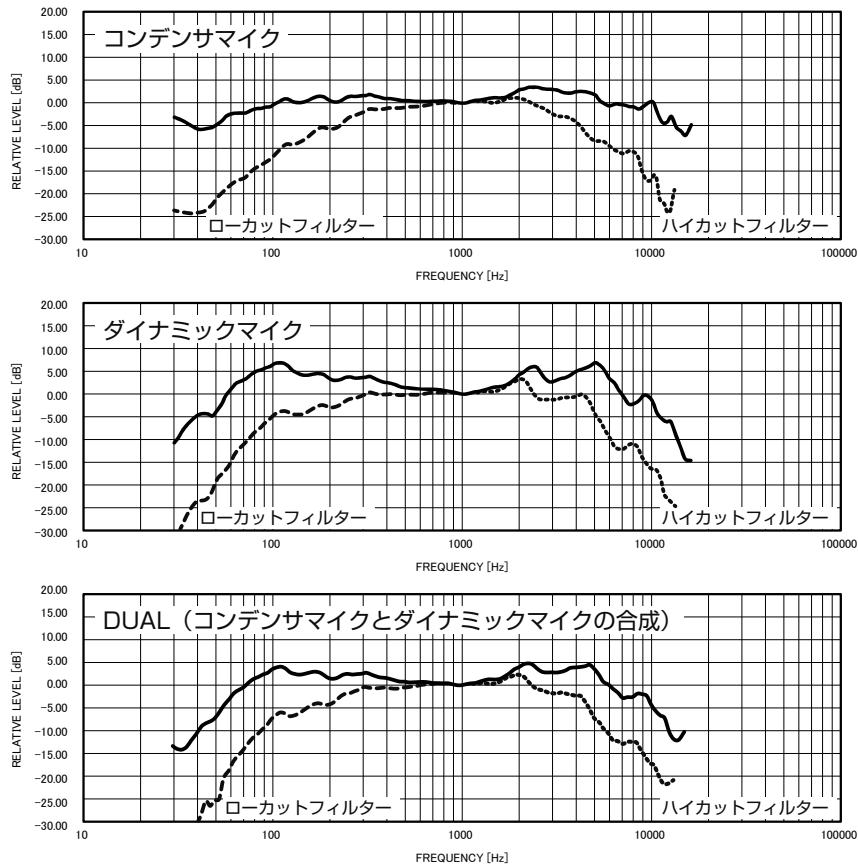
⑫ マイク端子（モジュラーポート）

付属のマイクロフォンケーブルで、マイク端子が“8ピン端子”的無線機と接続します。



※ M-100 の背面側から見たピン配置図

マイクの周波数特性



※周波数特性は測定環境により異なる場合があります

定格

電源電圧 :	DC5.0V ± 10%
消費電流 :	35mA (TYP)
マイクロホン型式 :	ダイナミック型 エレクトレットコンデンサー型
周波数特性 :	30 ~ 17000Hz
感度 :	-60dB (1kHz 0dB=1V/Pa)
マイクインピーダンス :	600 Ω
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) :	126 × 280 × 137 (mm) (突起物を除く、高さはマイク水平時最大)
重量 :	約 910g (マイク本体のみ)

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいた
だきました販売店または、当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。

この取扱説明書に記載の社名・商品名などは各社の商標または登録商標
です。



本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

八重洲無線株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD-3F



Printed in Japan 2511H-JS
©2025 八重洲無線株式会社 無断転載・複写を禁ず